

Approaching the Mount Fuji

第五合六合間筒
臨眺色

富士山

—谷文晁筆「富士山中真景全図」
と新出の富士山真景図—

谷文晁 (1763~1841)
富士山中真景全図
江戸時代 (1795年)
静岡県富士山
世界遺産センター

に迫る

せま

2018年 7月21日(土) ~ 8月26日(日)

開館時間：9:00~18:00 (最終入館 閉館の30分前)

休館日：毎月第三火曜日 (8月は 第三月曜日)

常設展観覧料：300円 (団体割引あり)

70歳以上・大学生等以下・障害者は無料 (証明書をご提示ください)

※今回の企画展は常設展観覧料でご覧いただけます



原在中 (1750~1837) 富士登山図 江戸時代 (1832年)



撮影 平井広行



静岡県富士山
世界遺産センター

〒418-0067 静岡県富士宮市宮町 5-12
TEL: 0544-21-3776 FAX: 0544-23-6800

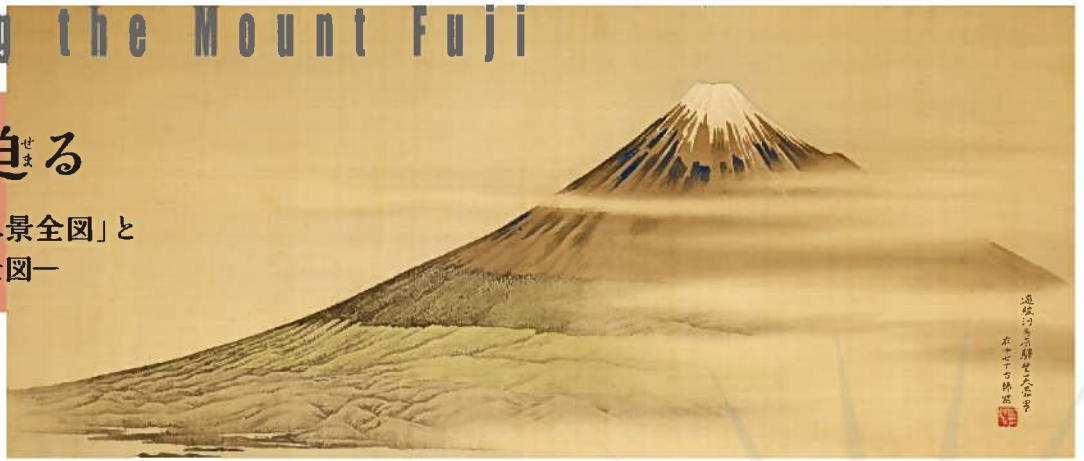
JR 身延線富士宮駅から徒歩 8 分
●新東名高速道路新富士 IC から約 10 分
●東名高速道路富士 IC から約 15 分

designed by Kichizo Yamaguchi

富士山に迫る

—谷文晁筆「富士山中真景全図」と
新出の富士山真景図—

原在中 過駿河吉原駅望芙蓉景図
江戸時代 (1819年)



2018年、^{たにぶんちよう}谷文晁 (1763~1841) 筆「富士山中真景全図」が静岡県富士山世界遺産センターの富士山絵画コレクションに加わりました。

同作品は富士登山の過程を計 34 図にわたり描いた全長 12m にもおよぶ大作です。

作者の谷文晁は、葛飾北斎や酒井抱一らが活躍した18世紀末から19世紀前半の江戸画壇に一世を風靡した人気絵師で、「^{しゃざんろう}写山楼」と号するなど自他とも認める富士山の画家でした。本作の冒頭には、11代将軍徳川家斉 (1773~1841) による「妙技」の評が書かれているため、将軍の上覧を得た作品であることがわかります。富士山に登ることのできない将軍は、本作をひもとくことで、富士登山を追体験したのです。

一方、人々が自由に旅行をすることができるようになった江戸時代には、実際に目にした風景をときにリアルに、ときに心に応じて表現した真景図が描かれるようになり、富士山もその主要なモチーフとして選ばれています。

静岡県富士山世界遺産センター初の本格的な美術展となる本企画展では、新収蔵の「富士山中真景全図」とともに、富士山真景図の新出作品を集め展覧いたします。

江戸時代人の目と心に映じた富士山に迫ってみませんか。

関連イベント

1 記念講演会 8月11日(土) 14:00~15:30
会場：1階研修室
(定員 45名・申込み不要・当日先着順)
講師：高橋利郎氏 (大東文化大学教授)
大橋美織氏 (東京国立博物館研究員)

2 館内講座 7月21日(土) 14:00~
会場：1階研修室
(定員 45名・申込み不要・当日先着順)
講師：松島 仁 (静岡県富士山世界遺産センター教授)



原在中 芙蓉及三保真景図
江戸時代 (1831年)